

## 研究課題「化学放射線療法後のデュルバルマブ(イミフィンジ<sup>®</sup>)維持療法における肺臓炎発現に化学療法レジメン選択が与える影響について」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2018年8月1日から2021年2月28日の期間中に当院で肺がんと診断され、抗がん剤と放射線の併用療法（化学放射線療法）後にイミフィンジ<sup>®</sup>の維持療法を受けた方。

### 2. 研究目的・方法

化学放射線療法後のイミフィンジ<sup>®</sup>の維持療法は標準治療として行われていますが、肺炎により治療を中断することがあります。肺炎となる方の危険因子に関してまだ報告は少なく、今回イミフィンジ<sup>®</sup>投与前の化学放射線療法の選択が肺炎に影響するか調べることを目的とします。

電子カルテの情報から年齢、性別等の患者さんの背景や使用した薬剤の投与量、投与期間、放射線の治療内容、臨床検査を参照させていただきます。

研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、検討させていただきます。

### 3. 研究に用いる情報

患者さんの背景、診断名、治療に関する情報、画像情報、臨床検査結果など

### 4. 外部への情報提供

調査内容は個人を特定する情報（お名前、ID、住所等）を含むものではありません。調査時に新たな番号を付け、その番号を用いて調査票が作成されるため、個人情報が入ることはありません。他施設へのデータ受け渡し方法は、USBに情報を記録し、データを受け渡す医療機関、データを受け取る医療機関ともに記録を残します。また、研究結果を公表する際は、患者さんを特定できる情報を含まないように致します。

本研究で得られた患者さんの情報は、同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性があります。その場合には、改めて研究計画書を作成し、倫理審査委員会の審査を経て承認を受け実施致します。

### 5. 研究組織

愛知県病院薬剤師会がん部会

研究責任者：荒川 正悟 中部労災病院 薬剤部

研究代表者：名古屋掖済会病院 薬剤部 新井 孝文

住所：〒454-8502 愛知県名古屋市中川区松年町4-66

TEL: 052-652-7711 FAX: 052-652-7783

研究参加施設と研究責任者・研究分担者

○名古屋掖済会病院	薬剂部	池上	信昭
名古屋掖済会病院	薬剂部	新井	孝文
碧南市民病院	薬剂部	板倉	由縁
トヨタ記念病院	薬剂科	久田	達也
トヨタ記念病院	薬剂科	桂川	健司
トヨタ記念病院	薬剂科	高取	裕司
トヨタ記念病院	薬剂科	大池	恵生
三河大野もみじ薬局		荒川	裕貴
名古屋大学医学部附属病院	薬剂部	宮崎	雅之
名古屋大学医学部附属病院	薬剂部	川原田	祐貴
中京病院	薬剂部	中根	茂喜

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

この調査に参加されたくない（自分のデータを使ってほしくない）場合は、以下の問い合わせにその旨をお伝えください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

中部労災病院 薬剂部 荒川 正悟  
連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL:052-652-5511